JR 草津線

●草津線とは

草津線は、柘植駅～草津駅間(36.7 km)を結ぶ鉄道路線である。

●草津線を走る車両

113 系、117 系、221 系の他に 223 系、225 系も使用されている。

▲113 系(混色編成 リニューアル色+湘南色)

▲113 系(京都・北近畿地区地域統一色車)

▲221 系。この車両は体質改善車で、スカートの強化、前照灯の HID 化などが行われている。

▲こちらは未更新車。体質改善車とはかなり印象が違う。

▲225 系

▲223 系(大河ドラマ「軍師官兵衛」のヘッドマーク付き)

●草津線の歴史

1889 年 12 月 15 日:関西鉄道によって草津駅～三雲駅間(15.93 km)が開業。

1890 年 2 月 19 日:三雲駅～柘植駅間(20.58 km)が延伸開業して全線開通。

1907 年 10 月 1 日:関西鉄道国有化。

1909 年 10 月 12 日:柘植駅～草津駅間の名称が草津線とした

1969 年 11 月 29 日:石部駅～手原駅間で気動車列車に落下岩石が衝撃。運転士 1 名死亡、乗客 17 名乗員 2 名負傷。

1980 年 3 月 3 日:全線電化。

1987 年 4 月 1 日:国鉄分割民営化に伴い柘植駅～貴生川駅間の貨物営業廃止。

●運行形態

普通列車のみの運転で、日中時間帯は 1 時間あたり草津駅 - 貴生川駅間で 2 本、貴生川駅 - 柘植駅間で 1 本運行されている。客車時代には多くが京都駅や鳥羽駅へ直通していたが、気動車・電車化により線内折り返しが主となった。しかし、草津線を利用する乗客の大多数の流動が大津駅・京都駅を向いていることもあり、現在も朝夕には京都駅まで直通する列車があり、平日朝には大阪駅への直通運転もある。

●主な駅

・柘植駅

草津線の中で唯一三重県に位置する(他駅は全て滋賀県)。関西本線に接続する。

▲柘植駅の駅名標。

・貴生川駅

信楽高原鐵道信楽線、近江鉄道本線との接続駅。1 時間に 1 本貴生川駅始発草津行が存在する。

▲信楽高原鐵道は草津線草津方面のホームと同じ位置にある。

▲ホームには改札機が設置されている。ICOCA カード、定期券利用者は乗り換えの際にこの改札を通る必要がある。

・草津駅

東海道本線(琵琶湖線)との接続駅。草津線はこの駅を起点とする。

●おまけ

●参考文献

Wikipedia　草津線

JR 西日本 221 系電車

国鉄 113 系電車

最後までお読みいただきありがとうございました。